

## 第5話「あのひとと仲良くなりたい！」

課題	どうやって話しかけたらいいかわからない
ストラテジー	共通の話題を見つけて話しかける
効果	共通の話題について話しかけることで、話が盛り上がりやすい

### <課題>

どうやって話しかけたらいいかわからない



スアンはすみれと仕事以外のおしゃべりをして、もっと仲良くなりたいのですが、何をきっかけに、どうやって話しかけたらいいかわかりませんでした。

### <ストラテジー使用場面>



スアン: それってニャンコピースのミケですよね。

すみれ: おお、そやで。自分、好きなん?

スアン: はい。私、このアニメの大ファンなんです。

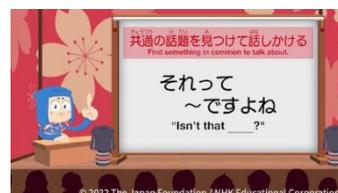
すみれさんも?

すみれ: そやねん。このミケ、めっちゃかわいいよな。

スアン: めっちゃかわいいです。

### <スアンが使ったストラテジー>

共通の話題を見つけて話しかける



スアンはすみれがスマホにつけていたストラップを指して「それって、ニャンコピースのミケですよ。」と話しかけました。すみれのストラップは、スアンが好きなアニメのキャラクター(ニャンコピースのミケ)でした。ストラップをつけているということは、すみれもそのアニメが好き、または、知っている、つまり、「共通の話題」である可能性が高いと考えたわけです。

### <どんなストラテジー？>

このストラテジーは、会話をうまく行うためのストラテジーの一つです。私たちが普段行っている会話の中で、特にはっきりとした目的がないおしゃべりを「雑談」といいます。雑談は、人と人との関係づくりのためにとても大切なもので、雑談をきっかけに相手のことをよく知ることができたり、その人と仲良くなれたりすることもあります。

一方で、はっきりとした目的がない雑談は、スアンのように、何を、どのように話しかければいいかわからないということも少なくありません。そんなとき、「暑いですね。」「いい天気ですね。」などとお互いが共有している状況を話題にしたり、「それ、かわいいですね。」などと相手の持ち物について話したりすることが、会話のきっかけになります。特に、相手の持ち物などで、自分もよく知っている、自分と共通の話題につながるものは、お互いにそれについて話すネタを持っている可能性が高いので話やすく、話が盛り上がる可能性も高くなります。

### <どうやって使う？>

このストラテジーは、相手に話しかけるときに使うことができます。休憩中などおしゃべりをしてよい状況であれば、「それって、〇〇ですよ。」というフレーズから話しかけても、唐突だという印象はありません。スアンのように相手の名前を呼んで注意を引き付けてから、このフレーズを使ってみましょう。

また、スアンは「それって、〇〇ですよ。」と、最後に「よね」ということばを使っていました。「～ですよ。」の「よね」は相手に確認をするときによく使われる終助詞です。「それって、〇〇ですか。」という質問のスタイルで話しかけることもできますが、「～ですよ。」という聞き方をすることで、相手に「あなたが知っているそれを、私も知っていますよ。」というメッセージを伝えることができるので、共通の話題であることを同時に相手に知らせることができます。

ほかにも「〇〇、好きなんですか。」「〇〇、私も持っているんです。」などと言って話しかけるのもいいでしょう。

**＜もう一歩＞ 雑談をさらに盛り上げるために**

共通の話題をきっかけに話しかけることができれば、さらに会話を続けて雑談を楽しみたいものです。話しかけたあとのスアンとすみれのやりとりにも雑談を楽しむヒントがたくさんかかれています。スアンとすみれの会話をもう一度見てみましょう。

スアン： それって、ニャンコピースのミケですよ。

すみれ： おお、そやで。自分、好きなん？

スアン： はい。私、このアニメの大ファンなんです。すみれさんも？

すみれ： そやねん。このミケ、めっちゃかわいいよな。

スアン： めっちゃかわいいです。

スアンに話しかけられたすみれは、「自分、好きなん？」と言ってスアンに質問しています。質問されたスアンは、「はい。」と答えるだけではなく、「このアニメの大ファンなんです。すみれさんも？」と言ってさらにすみれに質問し返しています。このように雑談では、自分ばかりが話すのではなく質問し合ってお互いの発言を引き出すことがとても大切です。雑談はよく「キャッチボール」にたとえられますが、スアンとすみれの会話もまさにキャッチボールのようにお互いが話せるようになっています。また、質問をする、ということも雑談ではとても大切です。1話で紹介したように、質問をすることで相手から話を引き出すことができます。「それ(ニャンコピースのストラップ)、どこで買ったんですか。」などと言って共通の話題について突っ込んで質問してみるとさらに話題が広がるかもしれません。